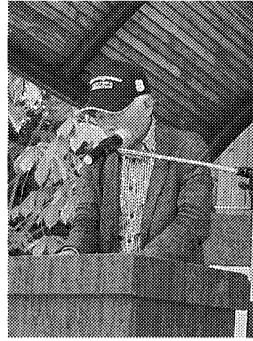


# たいよう

発行所  
大洋基礎工業株式会社  
たいよう新聞委員会

## 創業五九周年記念式典



### 創業者挨拶

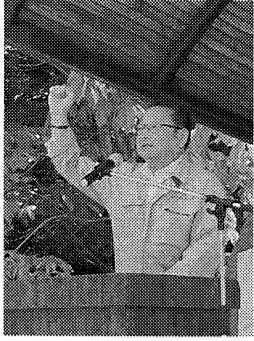
小諸なる古城のほとり 雲白く遊子(ゆうし)悲しむ 緑なすはこへは萌えず 若草も籍(し)くによしなし しろがねの金(ふすま)の岡辺 日に溶けて淡雪流る

あたゝかき光はあれど 野に満つる香も知らず 浅くのみ春は霞みて 麦の色わずかに青し 旅人の群はいくつか 畠中の道を急ぎぬ

暮行けば浅間も見えず 歌哀し 佐久の草笛(歌哀し) 千曲川いざよう波の岸近き宿にのぼり つ濁り酒濁れる飲みて 草枕し ばし慰む

・五月の長野と聞けば島崎藤村のこの詩が浮かびます。特に、緑なすはこへは萌えず、麦の色わずかに青し、草枕しばし慰む

### 社長挨拶



本日はたいへんお忙しい中、また遠方にもかかわらず創業五九年祭に多くの方のご参加いただきありがとうございます。北は東北、南は九州から三〇〇名を超す職域の皆様は長野県千曲市へ集まっていたいただき、重ねて御礼申し上げます。

テーマは「長野から明日を創る大洋を拓く」。未来に向かつて建設を通して社会貢献という

等の詩句から雪深き信州の野に水々しい生命が芽吹く藤村が大好きな信州の自然、大好きな信州人への想いを重ね、待ちこがれた春への心情が読みとれます。アメリカの詩人エマソンは、高い志を持っては詩は自然と湧いてくると語っていたように憶えています。藤村はきつと質素で実直、心はリンゴの赤が似合う情熱豊かなそんな信州の自然と信州人が大好きでこの素敵な詩が作れたのではないかと思えてなりません。

・私も藤村に負けぬ信州の自然信州人が大好きで創立記念式典会場を千曲市八幡大池キャンプ場に決めたとの報を受け、三月一六日(木)浅雪に足をとりながら会場を現調してまいりました。途中、眼下には善光寺平、中央に千曲川が多くの支流から水を集め、水かさが増し悠然と流れている。この川は越後に入ると更に水かさが増し、日本最長の大河信濃川と名が変わる。今、一〇〇億企業から一五〇

等を通して森林CO2吸収の促進を図るなど、社会貢献活動の一環として当社も協力させていただきます。また、隣接する大池自然の家は毎年夏期に開催しています。泊二日社員研修の会場として利用させていただいています。

創業祭は会社の誕生日を職域の皆様と共に祝う会であり、今年も良き日柄に誕生日を迎えることができるのも皆様のおかげと感謝しております。式典の中で五〇期社業に貢献された方を表彰しております。表彰規定により各部門功労賞、資格取得賞、新人賞、慰労賞等、受賞された方には敬意と感謝を申し上げます。

億企業へ転換期。比べるのも気が恥ずかしい限りですが、トヨタ売り上げもビックリですが、取引先三万社と超ビックリ。大洋も本社、機友会、東京関東協力会、長野信友会、名古屋安全衛生協力会、静岡駿洋会、大阪太友会、九州博太会、大洋と共にと言った下さる多くの仲間がいます。水かさを増しながら千曲川が信濃川に変わるように職域の仲間と共に一五〇億企業へと変わりたいものです。トヨタ、創業の原点、豊田佐吉翁は障子を開けてみよ、外は広いぞと論じたと聞きます。記念式典会場から見渡す善光寺平に真に外は広いぞ、志を大きく持てと教えられた思いです。

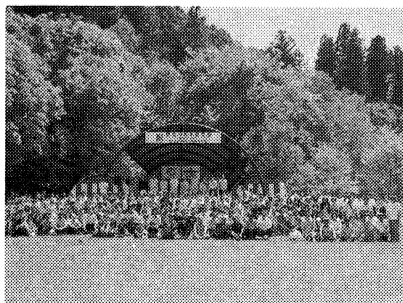
・三月一八日(土)本社管理本部に於いて、五一期首二月月次決算書、神守研究開発センター前同期月比計算書を受け取り、東、中、西地区に諸式が分けたれた決算書から三地区六支店好調にスタートしてしました。五日前の取締役会で定められた新体制での決算書様式には、さすがに少数精鋭を看板とする管理本部と感銘致しました。次に、センターの月次からは三二期年二・五億の欠損職場。席をセンターに移し改革に改善を重ね、一八年後の五〇期累積で八一八八六五〇〇円の収益。五一期首二月一五六一〇五七一円の収益累積で九七四九七二二二円。三月には一億円の大台にあと一歩にせまりました。思い起こせば、三三〇三五期と改善は進めたものの累積は増え続け気の重くなる歳月でしたが、職員の頑張りを感じ、自分を信じ、遂に遂にこの感慨もひとしをです。今日までのセンター職員の頑張り感謝しながら、土休返上で新体制への様式変更、管理本部諸君に敬意を示し晴れ晴れとした帰社となりました。

・大洋の創立記念日は五月三日憲法記念日、企業統治としてディスプレイ、よく聞かれます。この語句を読むたび何を今さらリフォームを含め平素お世話になつておられる皆様へ新たな形でのサービスを提供できるのではと考えています。将来は全支店に建築部の発足を目標したいと考えております。

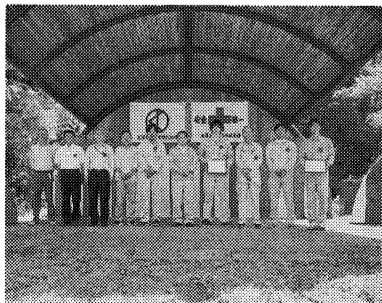
創業以来の推進工法、薬液注工法、地下水位低下工法に加え、三工法日本一を目指すTRD工法は気泡掘削、多孔管注入工法は液状化対策と土壌浄化に活用、建物矯正工法は小規模から大規模建物へと多岐ジャンキシステムすいへいくんの用途拡大、それぞれ進化から深化へと発展しています。昨年工法協会として発足しましたミニウォール工法と浅深4軸工法、着実に実績を積み上げています。RB Pウォール工法や既存杭撤去工法、一〇万戸以上の実績を誇る

めよとしたいものです。記念式典には三〇〇名を超す参加者が見込まれています。人の集まるところに勇氣と希望が生まれます。オリンパスの広告カラダが元氣だと心は前を向く。心が前を向けばカラダはもつと動きたくなる。三〇〇名を超す方が元氣になって一五〇億完工実現への出陣式としたいものです。

創業者 豊住 満



参加者記念撮影



表彰受賞者



記念植樹

二面に続く

代表取締役社長 加藤 行正

一面から続き



### 創業五九周年記念式典 実行委員長

平成二九年五月二一日(日) 真夏を感じさせるような日差しのもと、創業五九周年記念式典が行われました。昨年から野外B・B・Q形式を引き継ぐ形で、今年も新緑眩しい長野県千曲市大池市民の森にて総勢三〇〇名を超える大規模の仲間が集って開催。長野支店開設二四年、開設当初は二人だったこの支店へこれほど沢山の仲間が集まってくれたこの光景にとっても感激致しました。

移動手段が大型バス、到着までの所用時間が平均四時間超えでバスから千鳥足で降りてくる方々も見え、式典は少々遅れての開始となりました。今年も五〇期の社業の発展に大きく貢献された方々の表彰が執り行われましたが、功労賞は勿論のこと長期出張者の方々に頭の下がる思いであります。今回の式典では社会貢献活動として記念樹の植樹を取り入れました。今期より東・中・西日本地区制を設け、完工一五〇億の新たなスタートの前途を託して各地区それぞれにオオヤマザクラの苗木が与えられ、三本の記念樹のごとく競い合い、大きく成長開花することを願う丁寧な覆土されました。一年後の記念樹の生長と三地区の業績との関係を観る楽しみもまたできまいたので、随時報告させて頂きたいと思ひます。

昨年大盛り上がりを見せた支店対抗の綱引き、あまりの過熱感から競技種目を大縄跳びに変更。種目が何であろうと対抗意識は今年も健在であるところを見るのができ、業務にも充分に活かせることを確信致しました。因みに優勝チームは地の利を活かし、芝を読み切った我が長野支店であります。

野外ステージであっても「三宅太鼓」の演奏は元氣、活力を我々に与えてくれ翌日からの鋭気となったことと思ひます。「北信流」の中締めは長野開催では必ず採用しようと思つていたので、この地域独自の作法であります。遠路はるばる信州まで足を運んで頂き、楽しんでもらえなければ一年に一度全国から集まる創業祭の意味も無くなってしまうと、地域の特徴を活かして設営から食事、お土産催し物と一時間、一工夫を施してみました。ご参加された皆様如何だったでしょうか？

この記事が紙面に掲載される頃にはアンケート結果もまとまっていることでしょう。これからもよりよい創業祭が継続されることを期待します。最後に豊住顧問と共に前日より食事の仕込みを行って頂いた皆さん、B・B・Qの準備をして頂いた神守研究開発センターの皆さん、そして企画・運営から片付けまで忙しく飛び回っていた長野支店の職員、協力会の皆さんお疲れ様でした。盛大に挙行できましたのも皆さんの頑張りがあったからこそと心より感謝を申し上げます。

長野支店 取締役支店長  
市岡 秀夫



## 一五〇億企業へ新体制

今月は東日本地区担当常務として東京支店、長野支店に於いて陣頭指揮の任に就く川邊常務取締役に一五〇億完工の抱負を

### 東日本地区担当として



この度、東日本地区担当兼東京支店長と言う大任を拝命しました川邊です。

前席の静岡支店勤務があまりにも長期であったため、自身も浦島太郎状態であったと初めて新天地に着任して気づかされております。今でも右往左往するばかりで関係者各位には、ご心配やらご迷惑ばかりお掛けし

記して頂きました。たいよう新聞編集委員長  
監査役 友村 恒彦

して大変心苦しく思っております。一時も早く新天地に慣れ皆さんの足を引っ張ることの無い様日々奮闘しておりますので、今しばらくお待ちください。

体制中、目標設定を明確理解し、地区完工一五〇億の目標達成に向けての陣頭指揮が一番の責務と心掛けていますが、それでも全店完工高一五〇億も通過点であり、いかに毎年適正な完工を伸ばしつつ利益確保ができる体制作り、継続可能な組織作りこそ肝心であると考えています。着任ご挨拶でお得意様である

ゼネコン各社の数多くの方々が、東京オリンピック以降も二〇二五年ぐらまでは国土強靱化計画の下、建設業の仕事量は確保できるが大変心強いお話が聞きました。ただそれ以降はまったく不明瞭で、大手さんでも予想が困難な状況である様です。

人も物も情報も集まる日本の首都東京。以前より全店の情報発信基地としての任を背負って来た東京支店です。これからは益々情報収集にも精を出し、全店に有益な情報を数多く発信し続けたいと考えています。

これは以前より感じていた事ですが、名古屋で創業した会社である当社は、よく言えば質実剛健・悪く言えば大変地味な性質を持つていてと思つていました。実績・実力以上の過大広告を打つつもりは毛頭ありませんが、実力を正しく認知して貰う事や新技術をPRすることは今後益々重要と思ひます。また、社員・協力会社諸氏の人材面においても、まだまだ実力を十分

に発揮できていないと感じております。先の創業祭の様な催しを通じて担当地区を超え、全店の絆を深め、情報を共有して効率化を図れば、そして当社の人力が実力通りに発揮できれば一五〇億の目標はバタバタしないでも十分達成できるものと確信しております。

言い尽くされた言葉ですが、企業は「人」です。新入社員が毎年毎年きちんと入社して成長して活躍し、会社理念である「働いてよかつたと言えぬ職場づくり」を継承していく。そんな正しい循環が継続可能な組織作りこそ肝要と考えます。

残された私の会社での時間も長くないと自覚もしております。最後の戦場として余力残すことなく全力投球する覚悟です。どうか、ご指導よろしくお願ひします。

東日本担当常務取締役兼  
東京支店長 川邊 孝行

### ひとり言

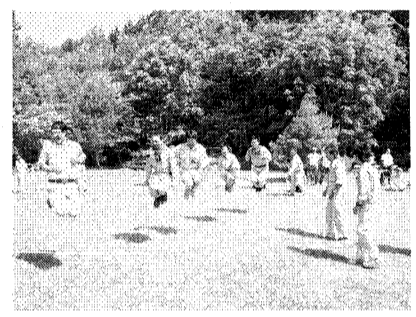
・創業者と継承者という面からリーダー論について記してみました。一般的に創業者の場合、資金も人材も不十分でのスタート。創業の夢を叶えるには必然的にお金を大切にしないと事業

は続けられない。資金づくり、組織づくりこそが最大の業務となります。継承者の場合、一定の規模もでき組織を守るのが最大の使命となります。時には培われた伝統、文化、成功例も邪魔になる場合もでてきます。その中で更なる成長を求められるそんなところから継承は創業より難しいと言われる由縁でしょう。

・事業を進めるにはどんな組織もリーダーの資質で八〇%決まると言われます。私はそれ以上と思つてきました。それほどリーダーの責任は重いと云うことでしょうか。その上でリーダーはこうあるべきとの思いを記してみたい。時代は常に動いています。守るべき価値観も変わってきてますし、経営上進める優先順位も

### 共済会だよ

☆新しい仲間  
五月一日  
丹羽 大輔  
名古屋支店 調査部  
福岡 義高  
九州支店 営業部  
五月二日  
田邊 靖史  
東京支店 工務部  
良知 康憲  
静岡支店 工務部



大縄跳び大会

☆ご苦労様でした  
五月三十一日  
森下 精一  
名古屋支店 岐阜営業所

・年末年始、年賀のお客様と楽しく新年を祝いたいと、仏間仏壇の清掃、お正月料理の準備等多忙を極め、六日の新年互礼会に始まり期末一月社長退任。突然のトップ交代。指令塔不在で改選期を控えた取締役の総意として次期人事案一任の大役をおおせつかり多忙を極め。

・二月建築部発足多忙の中、結婚五〇年。極身内での金婚式を計画。喜びは掛算、苦しみは引算。新刊書に刺激され計画変更。式場、式典、祝宴、招待者へ案内状の作成等々、公私共に多忙を極めた五一期スタート。

・四月、新入社員を受け入れ、プライベートの面では金婚式に続く喜寿の祝いが重なる。株主総会、新体制スタート。この月も公私多忙を極めた。

顧問 豊住 満